平成28年10月20日

**桜門体育学会　平成28年度プロジェクト研究 研究協力者の募集**

平成28年度のプロジェクト研究は会員からの一般公募はせず，研究委員会が中心となり「日本学術振興会科学研究費＜基盤研究C＞」に申請し，採択された段階で会員の方々に「研究協力者」を募る案が本年度第1回理事会で承認されました．これを受け，研究委員会の磯貝浩久氏（九州工業大学大学院情報工学研究院人間科学系）を研究代表者とした（研究分担者は理事会，研究委員会の9名），本申請が採択されましたので，ここに広く共同研究者を募集致します．積極的な参加をお待ちしております．参加を希望される会員の方々には，下記要領に従いまして申込みくださいますようお願い致します．

1)研究課題

「大学生の社会的スキルに及ぼすスポーツ活動の影響－メタ分析及び大規模調査による解明－」

研究代表者：磯貝浩久先生

研究分担者：渋倉崇行先生，水落文夫先生，高橋正則先生，鈴木典先生，野口智博先生，

水上博司先生，佐藤祐介先生，橋口泰一先生，近藤克之先生

2)研究の目的

従来の研究を概観すると，社会的スキルに及ぼすスポーツ活動の影響に関する研究は蓄積されてきているものの，評価する社会的スキルの側面や評価方法などが研究毎に異なっていたり，特定のスポーツ活動だけを対象にしていたりするため，説得力を持つ一般化できる有用な知見は得られていないといえる．

本研究は，大学生の社会的スキルに及ぼすスポーツ活動の効果に関して，1)従来の研究成果に対してメタ分析（meta-analysis）を行ない，どのようなスポーツ活動が，どのような社会的スキルの側面に，どの程度影響しているのかを検討する．2)その結果を基に，大学生を対象に大規模な横断調査を行い，社会的スキル獲得にはどのような要因が影響するのか，その要因はスポーツ活動によって相違するのかを検討し，3)縦断的研究により社会的スキルの獲得プロセスについて明らかにする．さらに，4)スポーツ活動を通して社会的スキルを獲得した者を対象とした質的研究と，5)研究で得られた知見を基にした介入研究を実施し，詳細を検討する．このような包括的研究は過去に例がなく，スポーツと社会的スキルに関して一般化できる有用な知見が示される．

3)研究の計画・方法

本研究の研究計画は，1)これまで行われてきたスポーツ活動の社会的スキルへの影響に関する国内外のすべての研究をシステマティックに収集し，メタ分析によってスポーツ活動の影響の程度などを検討した後に，2)５０００人程度の大学生を対象とした大規模な横断的研究を行い，マルチレベル分析などを用いて関連要因及びスポーツ活動毎の影響の相違を示し，3)５００名程度の多様なスポーツ実施者を対象に1年間の縦断的研究を行い，社会的スキルの獲得過程及び促進要因の因果を検討し，4)その結果を踏まえて，介入研究を行う．また社会的スキル獲得が顕著だった学生に対してインタビューを実施して質的に検討する．

4)研究の進捗状況

　現在までに，メタ分析における文献収集作業とコーディング作業が行われており，システマティックレビューの完成を目指して進めております．また，それと同時進行で，横断的調査のアンケート用紙も作成しており，10月末までの完成を予定しています．アンケート用紙完成後，11月初旬から横断的調査の開始を予定しております．横断的調査では，５０００人規模のデータが必要となります．できるだけ一人でも多くの研究協力者のご参加をお待ちしております．

5)研究参加の応募について

上記のプロジェクト研究の概要をご参照いただき，本研究への積極的な参加をお願い致します．希望される会員の方々は以下の要領で事務局にお申し込みください．

 (1)申込方法：

HPから，「平成28年度学会プロジェクト研究参加申込み用紙」をダウンロードし，必要事項をご記入の上，omonjim@nu-taiiku.jpに送信してください．なお，e-mailの表題は「研究協力者参加申込み」としてください．